

令和7年第5回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号		68		令和7年度大山町一般会計補正予算(第2号)						
(提案理由 及び 議案概要)							(単位:千円)			
款	10 総務費		項	5 総務管理費		目	6 企画費			
事業番号		9		事業名		企画費(一般)				
事業 の 目 的	対象 (誰、何に対してか)		全般			総合計画における位置づけ				
						32 地域の思いや力を発揮できる環境をつくろう				
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		まちづくり課の所管する事業に関する一般的な経費			根拠法令・要綱等				
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳						
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
67,451		4,750						4,750		
補正理由・事業概要						今回補正額の経費内訳				
○人事異動に伴う人件費の補正 【当初】 課長1、課長補佐2、主幹2、主任2、主事1 【補正後】 課長1、課長補佐2、主幹2、主任2、主事2 (1名は5月から産休) ○全国過疎問題シンポジウムにかかる経費 2025年 全国過疎問題シンポジウムが鳥取県で開催されることとなり、大山町は10月31日に行われる分科会の開催地となった。分科会としては、午前中に優良事例発表の会場運営、午後は視察の運営を行う予定。県が主体の取り組みではあるが、町独自の企画を行う場合は費用が発生する可能性があるため謝礼金と消耗品費の予算を計上する。						給料				
						一般職給料			3,000千円	
						職員手当				
						住居、期末、勤勉、児童手当			1,240千円	
						退職手当組合負担金			400千円	
						共済費				
						互助会負担金			10千円	
						報償費				
						過疎問題シンポジウム謝礼金			80千円	
						消耗品費			20千円	
(財源内訳の詳細 単位:千円)										
款-項-目-節-細節				説明名称		補正前の額	補正額	補助率等		

令和7年第5回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号		68	令和7年度大山町一般会計補正予算(第2号)					
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)		
款	10	総務費	項	5	総務管理費	目	6	企画費
事業番号		817		事業名		移住定住促進事業		
事業 の 目 的	対象 (誰、何に対してか)		大山町に移住(定住)を希望する方			総合計画における位置づけ		
						20 IJUターンの受け皿となるかつこいい 住まいをつくろう		
	意図・成果 (対象をどのような状態にし たいのか)		移住希望者への広報啓発(県外での相談会)、 空家バンク登録物件の修繕や住宅の新築費用に 対する助成を行うことにより、人口減少対策の一環 として、大山町への移住や定住を促進する。			根拠法令・要綱等		
						大山町未来につながる移住定住助成金 事業(新築助成)実施要綱・大山町未来 につながる移住定住助成金事業(空き家 活用事業)実施要綱		
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
29,485		7,172					7,000	172
補正理由・事業概要						今回補正額の経費内訳		
○移住定住相談会旅費 秋季に開催される岡山での相談会、冬季に開催される大 阪・東京での相談会に係る旅費等 ○移住定住を促進するための各種助成金 ①大山町未来につながる移住定住助成金(新築助成) ・省エネ住宅等 (当初予算 6件分) 1,000,000円(上限額)×4件=4,000,000円 ・一般住宅 (当初予算 2件分) 500,000円(上限額)×3件=1,500,000円 ②大山町未来につながる移住定住助成金(空き家活用事業) (当初予算 8件分) 1,500,000円(上限額)×1件=1,500,000円 ※空き家活用事業 空き家バンクを通じて売買等成約した場合、修繕費用を補助する (財源内訳の詳細 単位:千円)						旅費 移住相談会(東京・大阪)旅費 166千円 使用料及び賃借料 駐車場使用料 6千円 負担金補助及び交付金 移住定住助成金 7,000千円		
款-項-目-節-細節			説明名称			補正前の額	補正額	補助率等
75-10-15-1-1			ふるさと応援基金繰入金			19,750	7,000	10/10

令和7年第5回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号		68		令和7年度大山町一般会計補正予算(第2号)									
(提案理由 及び 議案概要)							(単位:千円)						
款	10	総務費		項	5	総務管理費		目	6	企画費			
事業番号		1255		事業名		学術連携事業							
事業 の 目 的	対象 (誰、何に対してか)		鳥取大学及び米子高専の地域活動を行う学生					総合計画における位置づけ					
								20 IJUターンの受け皿となるかつこいい 住まいをつくろう					
	意図・成果 (対象をどのような状態にし たいのか)		学術機関と連携することにより、町の行政課題等を 発掘し、解決を図る。また、地域活動を行う学生に 対して補助金を交付することにより、学生を中心と した自主的な活動を支援し、学生と町民の協働及 び人的資源の活性化を図ることを目的とする。					根拠法令・要綱等					
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳									
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	
24		105										105	
補正理由・事業概要						今回補正額の経費内訳							
学術機関と連携することにより、町の行政課題等を発掘し、解決を 図る。 ○鳥取大学 鳥取大学の講義「地方創生プロジェクト」を履修する学生の受け入 れを行う。参加する学生の交通費、宿泊費の補助を行う。 講義の概要 自治体の「地方創生事業」について、実際に現場に入り、事業関係 者にヒアリングや意見交換をし、地方に向けた課題を読み解き、課 題解決に貢献するプロジェクトの企画・提案を行う。 ○米子高専 米子高専とも連携協定を結んでおり、必要に応じて双方の課題に 協力して取り組む関係を継続している。 (財源内訳の詳細 単位:千円)						負担金補助及び交付金							
						米子高専振興協力金負担金 30千円							
						学生地域活動等支援事業補助金 75千円							
款-項-目-節-細節				説明名称		補正前の額		補正額		補助率等			

令和7年第5回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号		68		令和7年度大山町一般会計補正予算(第2号)									
(提案理由 及び 議案概要)							(単位:千円)						
款	10	総務費		項	5	総務管理費		目	6	企画費			
事業番号		1302		事業名		自治会集会所整備事業							
事業 の 目 的	対象 (誰、何に対してか)		自治会				総合計画における位置づけ						
							32 地域の思いや力を発揮できる環境をつくろう						
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		地域住民の自主的な活動や集落活動に必要な集会所を整備することで地域自由民の連帯意識の高揚と住民参加によるまちづくりを推進し、地域の活性化を図る。				根拠法令・要綱等						
							大山町自治会集会所整備事業補助金交付要綱						
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳									
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	
0		500										500	
補正理由・事業概要								今回補正額の経費内訳					
上野自治会集会所の屋根修繕費用に対する補助金 修繕費用 1,500,400円 補助額 上記の1/3(1,000円未満切り捨て) 500,000円 修繕に対する助成内容 〈条件〉 補助対象経費の総額が100万円以上であること 〈補助金の額〉 補助対象経費の総額の1/3 上限200万円								補助金及び交付金 自治会集会所整備事業補助金 500千円					
(財源内訳の詳細 単位:千円)													
款-項-目-節-細節				説明名称				補正前の額		補正額		補助率等	

令和7年第5回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号		68	令和7年度大山町一般会計補正予算(第2号)					
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)		
款	10	総務費	項	5	総務管理費	目	6	企画費
事業番号		1385	事業名		空き家対策事業			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		町内の特定空き家等			総合計画における位置づけ		
						23 目の前のかげがえのない風景を自分たちで守ろう		
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		特定空家等を個人が除却する費用を一部補助することにより、危険な空家等の除却を促進し、周辺住民の安全安心な居住環境の形成及び空家等対策の推進を図る。			根拠法令・要綱等		
						大山町空家等対策推進補助金交付要綱		
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,670		1,500		750	375			375
補正理由・事業概要						今回補正額の経費内訳		
○特定空家等除却推進事業補助金 特定空家等の除却を推進するため、特定空家等の除却を行う者に対して除却に要する費用の一部を助成する。 年々増加傾向にある特定空家等に対応するため、個人除却1件分を増額する。 補正額 1件分 1,500,000円 【除却補助の制度内容】 〈個人除却〉対象:特定空家等 ※今回補正分 補助率:除却費用の1/2(上限150万円) 財源内訳:国1/2 県1/4 町1/4 (当初予算 2件分) 〈集落除却〉対象:特定空家等 補助率:除却費用の10/10(上限300万円) 財源内訳:国2/5 県1/5 町2/5 (当初予算 1件分) 〈個人除却〉対象:危険家屋等 補助率:除却費用の1/2 財源内訳:町10/10 (当初予算 2件分)						負担金補助及び交付金 特定空家等除却促進事業補助金 1,500千円		
						令和6年度除却実績 〈個人除却〉 特定空家等 3件 危険家屋 2件 〈集落除却〉 特定空家等 1件 〈その他〉 略式代執行 1件		
(財源内訳の詳細 単位:千円)								
款-項-目-節-細節			説明名称			補正前の額	補正額	補助率等
55-10-10-5-1			空き家対策総合支援事業補助金			2,700	750	1/2
60-10-10-5-1			空き家対策総合支援事業補助金			1,350	375	1/4

議案說明資料

議案番号		68		令和7年度大山町一般会計補正予算(第2号)									
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)							
款	10	総務費	項	5	総務管理費	目	6	企画費					
事業番号		1507		事業名		家庭用発電設備等導入推進事業							
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		家庭用発電設備			総合計画における位置づけ							
						24 人にも自然にも優しいエネルギーとの付き合い方を考えよう							
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		家庭用発電設備等の導入を推進し、分散型のエネルギー供給構造の構築及び地球温暖化対策に貢献する。			根拠法令・要綱等							
					大山町家庭用発電設備等導入推進補助金								
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳									
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
0		25,000			7,250	17,700		50					
補正理由・事業概要						今回補正額の経費内訳							
町内の住宅に家庭用発電設備等を導入する者に補助金を交付する。 太陽光 50万×20件 薪ストーブ 50万×5件 蓄電池 等 50万×25件 【補助内容】 〈対象設備〉 太陽光発電システム、薪ストーブ等、蓄電池等 〈補助率〉 設備本体費用及び設置費用の1/2 〈上限額〉 50万円 ※太陽光発電システムについては、家庭用蓄電池と同時に購入する場合は50万円、太陽光発電システムのみの場合は20万円						負担金補助及び交付金							
						家庭用発電設備等導入推進事業補助金 25,000千円							
(財源内訳の詳細 単位:千円)						過去の補助実績							
						<table><tr><td></td><td>〈R5〉</td><td>〈R6〉</td></tr><tr><td>太陽光</td><td>11件</td><td>28件</td></tr><tr><td>薪ストーブ</td><td>8件</td><td>4件</td></tr><tr><td>蓄電池等</td><td>12件</td><td>31件</td></tr></table>			〈R5〉	〈R6〉	太陽光	11件	28件
	〈R5〉	〈R6〉											
太陽光	11件	28件											
薪ストーブ	8件	4件											
蓄電池等	12件	31件											
款-項-目-節-細節		説明名称		補正前の額		補正額		補助率等					
60-10-10-5-6		小規模発電設備等導入推進補助金				7,250							
90-5-10-27-2		過疎対策事業債(ソフト事業分)				17,700		10/10					

令和7年第5回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号		68		令和7年度大山町一般会計補正予算(第2号)					
(提案理由 及び 議案概要)							(単位:千円)		
款	10 総務費		項	5 総務管理費		目	6 企画費		
事業番号		1592		事業名		住宅用置き配ボックス設置事業			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		利用者			総合計画における位置づけ			
						24 人にも自然にも優しいエネルギーとの付き合い方を考えよう			
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		置き配ボックスの設置を推進することで、再配達によって発生する温室効果ガスを削減し、併せて運送事業者の負担軽減にも寄与する。			根拠法令・要綱等			
						大山町置き配ボックス設置事業補助金			
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳					
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
100		100			50			50	
補正理由・事業概要					今回補正額の経費内訳				
〈事業の内容〉 町内の住宅に置き配ボックスを設置する者に補助金を交付することにより、置き配ボックスの普及を促進し、再配達を削減することで地球温暖化対策に貢献する。 〈補助内容〉 【対象経費】 宅配ボックス及び付属品(鍵・錠前、固定具等)の購入、設置・固定に要する費用 【補助率】 1/2 【補助上限】 10,000円 ※R6年度 11月から申請受付開始 実績22件189,000円 R7年度当初予算 10件分					負担金補助及び交付金 住宅用置き配ボックス設置事業補助金 100千円				
(財源内訳の詳細 単位:千円)									
款-項-目-節-細節			説明名称		補正前の額	補正額	補助率等		
60-10-10-5-6			置き配ボックス設置事業補助金		50	50	1/2		

令和7年第5回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号		68		令和7年度大山町一般会計補正予算(第2号)					
(提案理由 及び 議案概要)					(単位:千円)				
款	10 総務費		項	5 総務管理費		目	10 交通安全対策費		
事業番号		31		事業名		交通安全対策費(一般)			
事業 の 目 的	対象 (誰、何に対してか)		住民 運転免許自主返納者			総合計画における位置づけ			
						27 移動も共有して安心安全な交通環境 を実現しよう			
	意図・成果 (対象をどのような状態にし たいのか)		交通事故の無い町を目指し、交通安全指導員・関 係機関と連携し、広報活動などの交通安全対策を 実施し、交通法規の遵守及び交通道德の高揚を 図る。加えて、運転免許自主返納者に対する支援 を行うことで、運転免許自主返納を促進し、交通事 故の減少を図る。			根拠法令・要綱等			
						大山町運転免許自主返納支援事業実施要綱・大山町 ハンドル形電動車いす等購入補助金交付要綱・大山町 交通安全推進事業補助金交付要綱			
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳					
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
4,241		200						200	
補正理由・事業概要						今回補正額の経費内訳			
ハンドル型電動車いす(シニアカー)購入補助金 年間補助見込み5件程度であるため、2件分の補正を行う。 ※当初予算は3件分 【制度内容】 運転免許自主返納者に対する支援として、ハンドル型電動 車いすの購入費を補助する。 補助額は本体購入費の1/2(上限100千円) 【補正額】 100千円×2台=200千円						負担金補助及び交付金 ハンドル型電動車いす購入補助金 200千円			
(財源内訳の詳細 単位:千円)									
款-項-目-節-細節				説明名称		補正前の額	補正額	補助率等	

令和7年第5回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号		68	令和7年度大山町一般会計補正予算(第2号)		
(提案理由 及び 議案概要)					(単位:千円)
款	10	総務費	項	5	総務管理費
目			目	11	公共交通対策費
事業番号		33	事業名		
			デマンドバス事業		
事業 の 目 的	対象 (誰、何に対してか)		対象者に制限はなく誰もが利用できるが、特に日常生活の移動に不便を感じる高齢者、障がい者等特に交通の配慮が必要な交通弱者		総合計画における位置づけ
					27 移動も共有して安心安全な交通環境を実現しよう
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		誰もが、日常生活に必要なスーパーマーケット・医療機関・役場等へ移動できるようにすること。		根拠法令・要綱等
					大山町予約型交通システムに関する条例,大山町予約型交通システムに関する条例施行規則
補正前		今回補正額	今回補正額の財源内訳		
			国庫支出金	県支出金	地方債
					その他
					一般財源
67,990		2,719		1,812	907
補正理由・事業概要			今回補正額の経費内訳		
本事業は、5台の車両を使用しており、その内1台の入れ替えを行う経費			役務費		
車両を購入する経費			自動車手数料		70千円
・備品購入費 2,606,120円			自動車保険料		25千円
・手数料 69,570円			備品購入費		
・保険料 24,190円			備品購入費		2,607千円
・自動車重量税 16,800円			公課費		
			自動車重量税		17千円
(財源内訳の詳細 単位:千円)					
款-項-目-節-細節		説明名称		補正前の額	補助率等
60-10-10-5-11		生活交通体系補助金		21,714	1,812

令和7年第5回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号		68		令和7年度大山町一般会計補正予算(第2号)									
(提案理由 及び 議案概要)							(単位:千円)						
款	10 総務費		項	5 総務管理費		目	12 総務施設管理費						
事業番号		36		事業名		ふれあい倶楽部管理事業							
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		友好館の利用者			総合計画における位置づけ							
						32 地域の思いや力を発揮できる環境をつくろう							
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		利用者が快適で安全に施設利用を行うための環境を整え、施設の利用促進に努める。			根拠法令・要綱等							
						大山町ふるさとフォーラムなかやまふれあい倶楽部条例・大山町ふるさとフォーラムなかやまふれあい倶楽部規則							
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳									
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	
7,173		2,872						1,800				1,072	
補正理由・事業概要							今回補正額の経費内訳						
○修繕料 漏電火災警報器取り換え修繕 275,220円 友好館ウッドデッキ修繕(杢石据付直し) 77,000円  ○委託料 友好館案内看板設置委託料 下記の理由からフォーラムの正規入口から案内するための看板を新たに設置する。(4か所) ・利用者から入口が分かりにくいという意見がある ・現在の進入路は使いづらい状況(狭い・急こう配) ○工事請負費 友好館セミナールーム・女性研修室(桜花)照明器具のLED化工事 (財源内訳の詳細 単位:千円)							需用費 修繕料 353千円 役務費 委託料 484千円 工事請負費 工事請負費 2,035千円						
款-項-目-節-細節		説明名称			補正前の額		補正額		補助率等				
90-05-10-24-1		脱炭素化推進事業債					1,800		10/10				

議案番号		68	令和7年度大山町一般会計補正予算(第2号)					
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)		
款	10	総務費	項	5	総務管理費	目	12	総務施設管理費
事業番号		37	事業名		生活想像館・温泉館管理事業			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		施設利用者			総合計画における位置づけ		
						32 地域の思いや力を発揮できる環境をつくろう		
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		利用者が快適で安全に施設利用を行うための環境を整え、施設の利用促進に努める。			根拠法令・要綱等		
						大山町中山温泉館及び生活想像館条例・大山町中山温泉館及び生活想像館規則		
補正前		今回補正額	今回補正額の財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
18,820		85,109			84,700		409	
補正理由・事業概要					今回補正額の経費内訳			
○手数料 温泉館裏倉庫撤去手数料 286,000円 温泉館裏のプレハブ倉庫が壊れており、撤去する費用					役務費 温泉館裏倉庫撤去手数料 286千円			
  正面 内部					工事請負費 生活想像館LED照明器具更新工事 83,228千円 生活想像館女性用トイレ改修工事 1,595千円			
○工事請負費 ・生活想像館LED化工事 わくわくホール 75,307,980円 エントランス・展示・階段下ホール 7,920,000円 (水銀灯部分) ・生活想像館女性用トイレ改修工事 1,595,000円 生活想像館の女性用トイレを和式から洋式へ改修する (現在1か所→3か所へ)								
(財源内訳の詳細 単位:千円)								
款-項-目-節-細節			説明名称		補正前の額	補正額	補助率等	
90-5-10-22-6			生活想像館照明器具LED化事業			83,200	10/10	
90-5-10-22-8			生活想像館女性用トイレ改修事業			1,500	10/10	

令和7年第5回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号		68		令和7年度大山町一般会計補正予算(第2号)					
(提案理由 及び 議案概要)					(単位:千円)				
款	50	教育費	項	20	社会教育費	目	1	社会教育総務費	
事業番号		1510		事業名		公民館建設事業			
事業 の 目 的	対象 (誰、何に対してか)		大山町民			総合計画における位置づけ			
						08 公民館や図書館をもっと活用しよう			
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		老朽化した公民館(大山・名和・中山)の更新計画を立案するため、令和6年度事業にて公民館のあり方の方向性(基本構想)が示された。基本構想の方向性に従い、住民で構成される策定委員会を設置し、施設の具体的な計画内容を精査する。計画ができた段階で終了			根拠法令・要綱等			
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳					
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,000		865						865	
補正理由・事業概要						今回補正額の経費内訳			
【事業概要】 基本計画を策定するため、16回程度の検討会議を行う。 関係者・住民・有識者(15名)＋関係課職員(7名) 計22名 【予算の概要】 基本計画策定委員の謝礼金(15名)×9回 基本計画策定委員ワーキングチーム(7名)×7回 (ワーキングチームメンバーは策定員会委員の中から選任) (参考) 基本計画策定委員会参加メンバーの構成 委員(15名)＋関係課職員(7名)＋担当課(3名)						報償費			
						4,700円×15人×9回＝634,500円			
						865千円			
						4,700円×7人×7回＝230,300円			
(財源内訳の詳細 単位:千円)									
款-項-目-節-細節				説明名称		補正前の額	補正額	補助率等	

令和7年第5回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号		68		令和7年度大山町一般会計補正予算(第2号)					
(提案理由 及び 議案概要)							(単位:千円)		
款	50 教育費		項	20 社会教育費		目	1 社会教育総務費		
事業番号		1511		事業名		地方創生推進交付金事業(ひとづくり事業・教育分)			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		大山町民(主に20代～40代)や町外への取り組みに興味ある方				総合計画における位置づけ		
							07 いくつになっても学び続け、行動し続けよう		
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		仲間と学びあい実践するコミュニティの形成を推進し、生産する学びから豊かにつながる人づくりを進めるため。実践する活動を公民館建設にも紐づける。具体的に今後の大山町を担う20代～40代が地域活動や社会活動に関心を持ち自発的に取り組む人を増やすため。 令和5年度からの事業で令和7年(3年間)まで継続する。				根拠法令・要綱等		
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳					
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
0		200						200	
補正理由・事業概要						今回補正額の経費内訳			
【事業概要】 若い方を対象に、遊びや興味関心を切り口に新しい活動をはじめ、学び教えあうコミュニティとして、大山おとなの研究部を発足。遊びを起点に学びの敷居を低くしながら、遊びから学びへの価値転換を促進し、探求と創造を通じて、場とヒトとコトが生まれるまちづくりを目指す。それぞれの部活で計画から実践までを年度内に行う。 【予算の概要】 住民活動を発展させるための人材育成に関する支援経費						報償費 謝礼金10,000円×18人＝180,000円 180千円 需用費 消耗品費 20千円			
(財源内訳の詳細 単位:千円)									
款-項-目-節-細節				説明名称		補正前の額	補正額	補助率等	

議案說明資料

議案番号		68		令和7年度大山町一般会計補正予算(第2号)							
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)					
款	10	総務費	項	5	総務管理費	目	12	総務施設管理費			
事業番号		34		事業名		こうれいコミュニティーセンター管理事業					
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		施設利用者			総合計画における位置づけ					
						08 公民館や図書館をもっと活用しよう					
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		こうれいコミュニティーセンターの、効率的で適正な維持管理を行い、施設利用者が快適に利用することができるよう努める。			根拠法令・要綱等					
						こうれいコミュニティセンター条例 こうれいコミュニティセンター規則					
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳							
				国庫支出金		県支出金		地方債	その他	一般財源	
6,551		281								281	
補正理由・事業概要						今回補正額の経費内訳					
第1研修室の会議机が老朽化しているため、10台購入する。 ミーティングテーブル @25,500円×10台×1.1						備品購入費		281千円			
(財源内訳の詳細 単位:千円)											
款-項-目-節-細節		説明名称				補正前の額		補正額		補助率等	

議案番号		68		令和7年度大山町一般会計補正予算(第2号)					
(提案理由 及び 議案概要)							(単位:千円)		
款	10 総務費		項	5 総務管理費		目	12 総務施設管理費		
事業番号		1353		事業名		こうれい上屋付多目的広場管理事業			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		施設利用者			総合計画における位置づけ			
						03 いつでもいつまでもスポーツを楽しむ人をふやそう			
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		生涯スポーツを行う同好会の活動拠点、青少年のスポーツ活動、町民の健康づくりの場として活用する。こうれいふるさと祭り、やまびこ運動会の会場としても活用する施設の維持管理を適切に行い、利用者が快適に施設利用できるよう努める。			根拠法令・要綱等			
						こうれい上屋付多目的広場条例 こうれい上屋付き多目的広場の管理運営に関する規則			
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳					
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
222		686						686	
補正理由・事業概要					今回補正額の経費内訳				
倉庫棟の壁が度々破損する為、倉庫の手前に防球フェンスを取付ける。また、破損した倉庫の修繕を行う。 ○ 倉庫壁修繕費用 102,300円 ○ 防球フェンス新設工事 583,000円					需用費 修繕料 103千円 工事請負費 583千円				
(財源内訳の詳細 単位:千円)									
款-項-目-節-細節		説明名称			補正前の額	補正額	補助率等		

令和7年第5回定例会

議案説明資料

提出課：大山公民館

議案番号		68		令和7年度大山町一般会計補正予算(第2号)					
(提案理由 及び 議案概要)							(単位:千円)		
款	50	教育費	項	20	社会教育費	目	2	公民館費	
事業番号		331		事業名		大山公民館			
事業 の 目 的	対象 (誰、何に対してか)		施設利用者				総合計画における位置づけ		
							07 いくつになっても学び続け、行動し続けよう		
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		利用者が快適に施設利用できるよう管理を行う。				根拠法令・要綱等		
							大山町公民館条例		
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳					
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
20,867		92						92	
補正理由・事業概要						今回補正額の経費内訳			
夜間警備にかかる費用の補正 ・7月以降夜警1名を直営から委託に変更するため報酬を減額し、委託料を予算化する。 報酬減額分 1,130円×5時間×115日＝649,750円 委託料 115日＋20日(直営職員有給休暇分)合計135日分 740,955円						報酬 △ 649千円 委託料 741千円			
(財源内訳の詳細 単位:千円)									
款-項-目-節-細節				説明名称		補正前の額	補正額	補助率等	